

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-1_快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出

基本計画		事業番号	細事業名称
4-01-01	計画的な土地利用の推進	06198_01	地籍調査事業
4-01-01	計画的な土地利用の推進	08037_04	都市計画策定
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08049_01	公園整備事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08236_01	公園長寿命化対策事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08275_01	湧水空間整備事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08277_01	滝の宮公園リニューアル事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	06198_01		
事業名(行目名称)		地籍調査事業費	細事業名	地籍調査事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	国土調査課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市域(調査対象面積)		数値	232.33Km ²		
	手段(どうやって)	毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、一筆ごとの土地の境界を明確化する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地籍調査が行われることで、民間においては土地境界をめぐるトラブル防止や登記手続の簡素化・費用縮減、土地の有効活用が促進される。 行政においては各種公共事業の効率化やコスト縮減に寄与するとともに、公共物管理の適正化が図られるようになる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		14,223	79,991	115,391	48,535	地籍測量等委託料 61,777 (久保田町一丁目・二丁目、別子山保土野の一部 外)	
財源	県・国支出金	5,925	47,625	74,175	29,944	復元測量委託料 12,059	
	地方債		0	0		報酬 2,579	
	その他	15	9	9	56	電算機使用料 1,090	
	一般財源	8,283	32,357	41,207	18,535		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	
事業進捗率(%) 調査換算面積÷調査対象面積			目標値	10.3	10.6	—	13
			実績	11.9	12.2	—	13.7
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>昨年度からの継続となる庄内町の一部・久保田町の一部地区と別子山保土野の一部地区及び新規着手地区の久保田町一丁目・二丁目地区と別子山保土野の一部第2地区において計画通りに事業を実施し、順調に進捗している。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>国・県の負担金もあることから第7次国土調査事業十箇年計画に基づいて、事業を継続していく。 新規地区として八雲町地区、泉宮町地区、別子山芋野の一部地区に着手し、概況調査地区では一宮町一丁目・二丁目地区を予定している。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>土地取引やインフラ整備の円滑化、防災・減災対策を推進するため、今後も事業を継続する必要がある。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08037_04		
事業名(行目名称)		都市計画策定費	細事業名	都市計画策定			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	上位計画に基づき、都市計画上の課題に対応した都市計画変更の手続きを行うため、必要な基礎調査、協議等を重ねてきた。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市長期総合計画(後期戦略プラン)、新居浜市都市計画マスタープランに示される本市の課題に対応した都市計画変更を行うことにより、まちづくりを計画的に進めて、適正かつ合理的な土地利用を実現することができる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)		令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		8,564	1,894	8,394	237		
財源	県・国支出金	0	0	3,250	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,564	1,894	5,144	237		
委託料 587千円 通信運搬費、印刷製本費ほか 1,307千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
都市計画決定(変更)案件数(件)		目標値	2	2	2	2	1
		実績	2	3	3	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
都市計画道路網の見直しについては、各路線の検証結果等から、それぞれの方向性を位置づけた道路網の方針の素案を作成した。今後は、その方針素案を基に住民等の合意形成を図り、都市計画法に沿って都市計画決定の変更手続きをしていく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
目指すべきまちづくりを構築していくには、社会情勢に応じた新たな計画策定や計画の見直し、また必要に応じて都市計画決定(変更)を行う必要があるため、今後も引き続き予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
目指すべきまちの将来像を実現するには、都市計画の基本的な方針に基づき個別の計画策定を行い、その計画に即した都市計画事業を実施する事が必要である。よって今後も計画策定及び見直しを引き続き行う。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08049_01			
事業名(行目名称)		公園整備事業	細事業名	公園整備事業				
総合 計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民全体	数値	118,521人				
	手 段 (どうやって)	維持管理状況の適正な把握(パトロール)による必要な業務の委託、維持補修及び施設更新、整備工事を行い、費用対効果を検証しながら、効率的な管理整備を行っていく。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	公園の適正な維持管理・補修整備を行い、都市緑化を推進し、市民に安全かつ快適なレクリエーションスペースを提供すると同時に健康増進や市民相互の交流の場の創出を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		91,551	98,444	98,444	97,481	各公園維持管理、樹木管理業務委託料 75,900千円 施設整備工事費 6,000千円 設計業務委託料 6,534千円 公園施設修繕料 7,000千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	91,551	98,444	98,444	97,481			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
パトロール等による改善件数			目標値	600	600	600	600	600
			実績	569	641	352	637	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
一部分の公園緑地を除き、大部分の都市公園は開設から多くの年数が経過し、施設の老朽化が顕著である。また、樹木も大木となり、施設や植栽の適切な維持管理が欠かせない状況となっている。かつ、除草や施設改修の要望・苦情は絶えることがない。職員が直接対応することも増えており、優先度を勘案して事業を実施していく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
公園利用者が快適に公園施設を利用できるように、今後も公園施設の維持管理に取り組む。そのため、本事業は有効性・必要性の高い事業である。樹木の管理や害虫の駆除などは専門知識が必要なため、継続して現状の予算を確保し、公園利用者の安全の確保に務める。今後も継続して滞りなく維持管理・点検・修繕業務を実施していく。また、山根公園、新居浜公園には指定管理者制度を導入しているが、効果や効率性について今後検証を行い、予算要求に反映していく必要がある。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市民から公園の利用や整備について多数の要望や意見が寄せられており、安全・快適に公園施設を利用できるよう維持・管理について計画的かつ継続的に取り組んでいく必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08236_01			
事業名(行目名称)		公園長寿命化対策事業	細事業名	公園長寿命化対策事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	公園利用者	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	長寿命化計画を策定し、計画的に修繕・改築を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	長寿命化計画を策定し計画的な改築・修繕を行うことにより公園を安全で快適に利用できるようにする。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		33,168	54,440	34,440	22,731	長寿命化計画に基づく都市公園施設改修工事費 30,000(千円) 中萩きらきら公園人工芝更新工事費 23,440(千円) 点検に基づく遊具更新工事費 1,000(千円)		
財源	県・国支出金	11,900	15,000	5,000	0			
	地方債	11,400	34,500	26,000	19,700			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	9,868	4,940	3,440	3,031			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
公園に対する苦情件数(件) H30年度まで 公園施設の老朽化に関する苦情件数(件) R01年度			目標値	170	30	30	30	30
			実績	75	5	5	4	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
当初、補正に関わらず、国から交付される交付額、時期に応じて、更新する施設の優先順位を随時見直しながら実施していく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
公園施設長寿命化計画において、令和4年度に予定している施設更新に要する社会資本整備総合交付金対象となる工事費を、本年度と同様の予算規模で要求する。 中萩きらきら公園人工芝更新工事が完了するため、社会資本整備総合交付金対象外の事業を縮小する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和3年度については、遊具、照明灯、駐車場等の改修を実施し、安全安心で快適な公園利用を提供することができた。引き続き計画的に老朽化施設の改築・修繕を実施する。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08275_01		
事業名(行目名称)		湧水空間整備事業	細事業名	湧水空間整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	遊水地	数値	4			
	手段(どうやって)	地元関係者による整備検討委員会を開催し、整備計画を策定して計画的に整備を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	湧水池を整備することで地域の文化資源として快適に利用することができ、環境、まちづくり学習の場となる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	高柳公園整備工事費 7,000千円 岡城館歴史公園園路整備委託料 1,000千円	
経費		4,078	8,000	8,000	7,555		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	3,400	7,200	7,200	6,700		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	678	800	800	855		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
整備する遊水地の箇所数		目標値	2	2	2	2	1
		実績	2	2	2	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
高柳公園整備において、通行者の動線確保のため、周辺で実施している上下水道工事との工程調整、及び工事車両進入路で予定している、農地整備課発注の床板改修工事との工程調整が必要。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
高柳公園敷地内における駐車場やトイレ等の施設整備に要する工事請負費を要求する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和3年度については、岡城館歴史公園の湿地帯整備、高柳公園北の道路整備を実施した。今後も引き続き、高柳公園の整備を実施し、湧水の保全、環境学習の場としての、地域の文化資源として整備を継続する。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08277_01		
事業名(行目名称)		滝の宮公園リニューアル事業	細事業名	滝の宮公園リニューアル事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	滝の宮公園	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	公園リニューアルに係る測量設計及び工事の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	滝の宮公園について、少子高齢化や健康に対する意識の高まりなどの多様なニーズを踏まえ、安全かつ快適に公園施設を利用できるようにリニューアルを実施し、より一層市民に親しまれる憩いの場として復活させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		39,600	69,400	131,800	47,334		
財源	県・国支出金	19,800	33,800	65,000	23,008	工事費 大池周辺整備工事 15,000(千円) シニア健康ゾーン整備工事 52,600(千円)	
	地方債	17,900	32,000	60,100	19,200		
	その他	0	0	0	3,000		
	一般財源	1,900	3,600	6,700	2,126		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
公園利用者数		目標値	186000	186000	186000	196000	196000
		実績	186000	186000	186000	196000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>複数の工事が同じエリアで輻輳するので、工事間の調整が必要。 また、輻輳する工事全体を踏まえ、利用者にとって理解しやすい迂回路等の提示が必要。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>リニューアル基本計画に基づき、今後も引き続き予算要求を行う。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和3年度については、公園内の散策路の整備、園路の舗装、日本庭園の整備を実施し、利用者に安全かつ快適な空間を提供することができた。今後もリニューアル計画に基づき、整備を継続する。</p>							